

大学生が紹介する兵庫の企業

菊正宗酒造(株)

神戸市東灘区御影本町1-7-15 ☎078-851-0001

昨年、創業360年を迎えた灘五郷の酒造会社。清酒の製造販売が中心だが、近年は「美容と健康」をテーマに、日本酒を使った化粧品の開発などにも取り組んでいる。

公式サイト



- 設立(創業) / 1919年(創業1659年)
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 99億5,000万円(2020年3月期)
- 従業員数 / 270名
- 平均年齢 / 43.4歳

清酒販売 需要層開拓が課題

— **長い歴史を持つ酒蔵だ。** 「創業は酒造業に特化し始めた江戸時代初期の1659年。酒造りは、室町時代の約600年前から行っていたという記録もある。戦争や阪神・淡路大震災などのさまざまな災禍を乗り越えてきた。われわれが酒造りをしている灘は、全国の約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

— **コロナ禍の影響は。** 「飲食店に販売する業務用の売上げが大幅に落ち込んだ。緊急事態宣言が出ていた4月と5月の業務用は、いずれも前年同月比で8割減った。直近は徐々に回復し、3割減程度まで戻っている。一方、外出自粛による『巣ごもり消費』がプラスに働き、紙パック酒などは順調に推移した」

— **清酒以外の事業にも力を入れている。** 「美容と健康の分野で新たなチャレンジを始めている。とりわけ、約10年前に参入した化粧品分野は、ようやく会社の収益に貢献するようになってきた。現在では売上げの1割を占め、顧客からは『使い心地が良い』といった評価を得ている」



酒「百黙」を手に話す嘉納治郎右衛門社長

— **今後の課題は。** 「清酒の販売では、新しい需要層をどう開拓していくのかが大きなテーマだ。日本酒になじみのない女性や若い世代が飲みやすい酒の開発などを進めている。化粧品事業でも、将来は清酒の顧客となり得る10代や20代の若い世代への販路開拓を目指している」
(まとも・中村有沙)



菊正宗酒造が醸造・販売する商品群

(株)クロシェ

神戸市中央区元町通5丁目8-15 ☎078-382-4012

バレエシューズ「ファルファール」など女性向けファッションブランドを展開する中堅アパレル。衣料品を通して、人々を楽しく、美しくするだけでなく、業界の課題解決や地球環境保全などにも目を向ける。

公式サイト



- 設立(創業) / 2006年(創業1996年)
- 資本金 / 1,000万円
- 売上高 / 15億3,800万円(2020年1月期)
- 従業員数 / 78名
- 平均年齢 / 36.0歳

受注販売で業界課題を解決

— **会社の始まりは。** 「大手銀行を辞め、1996年、食器の輸入販売会社として設立しました。すぐに洋服も仕入れるようになり、自社企画も始めました。2013年、当時、日本では珍しかったバレエシューズのブランドを立ち上げたところ大ヒット。今では、売上げの50%を占める主力事業になりました」

— **事業の特長は。** 「バレエシューズはもちろん、時短で上品な装いが仕上がる『神戸・山の手スカート』など、常に新しい視点を大切にした商品作りを心掛けています」

— **コロナ禍の影響は。** 「緊急事態宣言などで全店を数カ月間、休業しました。その間に取り組んだのが会員制交流サイト(SNS)を使ったライブ配信。店員がお薦めの服や着こなしを紹介し、ネット通販へとつなげました。これからの時代の販売形態として手応えを感じています」

— **今後の戦略は。** 「アパレル業界は、商品を大量に見込み生産し、その半分を廃棄しているといわれます。この問題を受注販売によって解決しようと考えています。手元に届くまで2週間から2カ月かかりますが、『待てる』という顧客は多く、すでに注文も受けています。5年以内に取扱商品の8割を受注販売に切り替えたいです」

— **求める人材は。** 「時代が大きく動いている今こそ、常識にとらわれない柔らかな発想を持った人に期待したいですね」(まとも・中務庸子)



バレエシューズを手に、アパレル業界の課題解決への思いを語るクロシェホールディングスの沼部美由紀社長



クロシェホールディングスの本社

大和出版印刷(株)

神戸市東灘区向洋町東2-7-2 ☎078-857-2355

パンフレットやポスターの印刷に加え、ウェブサイト・システム開発、オリジナル文具の販売を手掛ける。兵庫県印刷工業組合の理事長にして、現役の関西学院大生でもある武部健也社長は「印刷もできる印刷会社でありたい。多様な情報発信をお手伝いする」と前を向く。

公式サイト



- 設立(創業) / 1948年
- 資本金 / 3,000万円
- 売上高 / 6億3,000万円(2019年8月期)
- 従業員数 / 36名
- 平均年齢 / 40.3歳



大和出版印刷の事業展開について語る武部健也社長

多様な情報発信を支援

— **展開が幅広い。** 「印刷は熟練の職人が機器を駆使し、小口注文でも高品質に仕上げ納品している。サイト・システム開発は、自社でゼロからプログラミングでき、案件ごとにきめ細かく対応できる」 「文具ブランドの『神戸派計画』は、白いけい線で読みやすくしたノートや、日常で行うべき業務の完了と未了を視覚化できるメモ帳などを開発。価値を創造してブランド化している」

— **コロナ禍の影響は。** 「ペーパーレスが進んだ中、営業自粛や催しの延期・中止が相次ぎ、チラシやパンフレットなど商業分野の受注が一時消えた。当社は大学・高校など向けの割合が高く、そこまでの打撃はなかった。ただ、印刷業界は数人の家族経営と数十人の中小零細事業者が大半を占め、基本的に受注型。後継者がいないと厳しいが、いれば廃業しにくい」

— **課題は。** 「人材の確保だ。紙媒体は斜陽と言われるが、完成までに何人もの目を経て信頼性を帯び、記録性にも優れる。一方、若い世代向けを中心にデジタル対応は欠かせない。コロナで世の中が激変する事態も予想され、アナログ、デジタルの情報発信の対応を急ぎたい」



自社開発のオリジナル文具シリーズ「神戸派計画」

— **求める人材像は。** 「アルバイトなり就業体験なり、社会を経験して働く動機を持ってほしい。大企業もいいが、自分を試したい人、高めたい人ほど中小零細では即戦力として活躍するチャンスが広がる」

(まとめ・佐伯竜一)

(株)マルヤナギ小倉屋

神戸市東灘区御影塚町4-9-21 ☎078-841-1456

煮豆やつくだ煮を製造・販売する。近年は品ぞろえを広げ、需要が伸びる蒸し豆は他社に先駆けて開発した。今年4月には加東市で専用工場の操業を始め、生産能力を2倍に拡大。次は食物繊維を多く含む「もち麦」に照準を定めて、日本人の食生活の改善に取り組む。

公式サイト



- 設立(創業) / 1951年
- 資本金 / 9,950万円
- 売上高 / 96億8,000万円(2020年7月期)
- 従業員数 / 462名
- 平均年齢 / 41.0歳

豆や麦で食生活改善に貢献

— **商品の特長は。** 「昆布のつくだ煮や煮豆など、食物繊維が豊富な食品を扱っています。日本人の食生活で最大の問題点である食物繊維不足を解消するのにふさわしい食材ばかりです」

— **蒸し豆を投入した理由は。** 「当社が16年前に蒸し豆を商品化するまで、大豆の加工品は水煮が主流でした。しかし、栄養分が水に溶け出し、豆のおいしさも損なわれてしまいます。味と栄養を封じ込めたのが蒸し豆です」

— **もち麦を使った商品にも力を入れている。** 「カロリーが白米の半分で食物繊維は9倍と、体に良いことから、人気が出てきました。ただ、大半が海外産で、当社も最初は米国産。国産を求める声に応じて3年前から加東市で栽培してもらっています」 「従来は白米と一緒に炊いていましたが、加東市のもち麦は本当においしいので、単独で食べてほしい。千億円単位の朝食市場で、パンやシリアルなどからもち麦に置き換わるようにしたい。今はスープ用を販売しています。加東市と連携協定を結び、地域経済の振興や住民の健康づくりに貢献したいです」



もち麦を手にするマルヤナギ小倉屋の柳本一郎社長



加東市などで製造したもち麦の商品

— **求める人材は。** 「従業員が仕事を通じて成長することが大事だと考えています。高い目標を持って、常に挑戦できる人がいいですね」(まとめ・塩津あかね)

六甲バター(株)

神戸市中央区坂口通1丁目3番13号 ☎078-231-4681

公式サイト



「Q・B・B」ブランドで知られる家庭用プロセスチーズの最大手。棒状の「スティックチーズ」や、1枚ずつ包装したスライスチーズを開発するなど、市場に革新を起こしてきた。

- 設立(創業)/1948年
- 資本金/28億4,320万円
- 売上高/526億7,200万円(2018年12月期)
- 従業員数/405名
- 平均年齢/41.0歳

プロセスチーズ世界一へ

— **どんな歴史がありますか。** 「社名に『バター』とありますが、実際に作ったり売ったりしたことは、実は一度もありません。マーガリンのメーカーとして創業し、当時マーガリンが『人造バター』と呼ばれていたことから、1954年に現在の社名に改めました。今は、売り上げの95%がチーズで、ほかにチョコレートやナッツも販売しています」



経営課題や今後の戦略について語る六甲バターの塚本浩康副社長

— **課題は。** 「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛で、ピザ用チーズや主力のベビーチーズなど、家庭用商品が大きく伸びましたが、売り上げの約3割を占める業務用が落ち込みました。ホテルや居酒屋以外に、新しい販売先の開拓や、新商品の提案などが必要です。また、外食や食生活、健康などに対する考えにも変化が生じています。子育て世代やアクティブシニア層を中心に、需要を的確に捉えていかなければなりません」

— **今後のビジョンは。** 「チーズの原料である牛乳を巡っては、牛が出すメタンガスが地球温暖化を加速させるとして問題視する動きがあります。持続可能な商品も考えるべきテーマでしょう。目標は『世界一のプロセスチーズメーカーになる』。



種類が豊富で女性に人気のチーズデザート

これまで培ってきた知識や加工技術を生かしていきたいです」

— **求める人材は。** 「時代の変化のスピードが速まっています。自分で考えて行動できる人こそ、戦力になると思います」

(まとめ・中務庸子)

女性がいきいきと活躍する企業

あすかかんばんにー

アスカカンパニー(株)

加東市河高4004番地 ☎0795-48-4323

菓子の容器やチューブ状製品のふたなどのプラスチック製品を造っているアスカカンパニー。女性社員がいつまでもやりがいを持って働き続けられるよう成長の場を設けている。

- 👑平成26年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑ユースエール認定企業 🏆くるみん認定企業

公式サイト



- 設立(創業) / 1968年
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 34億円(2019年10月期)
- 従業員数 / 252名
- 平均年齢 / 35.0歳

若手にリーダーを任せ、成長の場に

「会社の役割は社員に成長の場を提供すること。個人が成長すれば会社も成長できる。ひいては社会への貢献にもつながります」と長沼社長は言い切ります。

成長の場として、全社員が小グループに分かれ改善目標を決めて成果を発表する活動や会社に取り組むべきテーマで設けられるプロジェクトチームがあります。

評価センターの杉野文美さんは創業50周年誌制作プロジェクトチームのチームリーダーを入社2年目で任されました。「提案は複数出して選べるようにすること、戸惑っているリーダーに助け船を出すことなど、自分がしてもらってありがたかったことを仕事で生かすようにしています」と話します。

入社4年目で創業50周年記念行事企画プロジェクトチームのリーダーを任された品質保証室の高田文菜さんは「その時に築いた社内人脈が今、リーダーとして取り組んでいる別のプロジェクトでも役立っています」と話します。

在宅勤務10年超の女性社員も

育児休業や短時間勤務はとくに期限を設けず、在宅勤務を10年以上続けている



創業50周年に関するプロジェクトのリーダーを務めた高田文菜さん(左)と杉野文美さん

女性社員もいる同社。杉野さん、高田さんとも今後のキャリアに明確な目標を持って仕事に臨んでいます。「それぞれの働きたいという思いを最大限に尊重したい。そして彼女たちにはこれから入ってくる若い社員たちのモデルになってほしい」と長沼社長は期待を込めて語ります。



「あ!コレ知ってる!」そんな製品を造っている会社です

こいずみせいま

小泉製麻(株)

神戸市灘区新在家南町1-2-1 ☎078-841-4141

創業130周年を迎える老舗企業だが女性社員による業務改善プロジェクトなどにより風通しの良い活気ある社風が育まれ、それが新商品を次々に生み出す原動力にもなっている。

👑令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

公式サイト



- 設立(創業) / 1890年
- 資本金 / 2億3,000万円
- 売上高 / 78億1,600万円(2020年5月期)
- 従業員数 / 157名
- 平均年齢 / 43.1歳

社会課題に応える新商品を次々に開発

1890年にジュート(黄麻)メーカーとして創業し、麻関連の包装資材などを製造してきました。近年は社会に必要とされる新商品の開発に注力。液体物流容器や農業用資材、緑化資材などで多彩な商品を送り出しています。

小泉康史社長が就任した2015年以降は社員がやりがいを持って働ける風土づくりに着手。コミュニケーションを活発にしながら、女性社員が働きやすい職場づくりを考える業務改善プロジェクトなどを推進してきました。



130周年記念キャラクター「仔馬のこいちゃん」も社員の発案で誕生しました

働きやすい仕組みを社員が提案、実現

同プロジェクトでは、一人ひとりの業務を見直して仕事を共有し合える体制を構築。子育て中で時短勤務を利用するCSセンターの小西裕子さんは、「繁忙期でも残業をせずに帰れるようになり、休暇も取りやすくなった」と話します。

社員の声が社内制度に反映されることも多い。経営戦略室の浜谷茜さんは、育児休業明けに遠方から通勤する同僚を見て「居住地の近くに拠点があればむだなく働けるのでは」とシェアオフィスサービスを会社に提案、2020年3月から導入され



人の移動を支える道路や鉄道の整備に活用される商品も

ました。折からのコロナ禍で活用が進み、在宅勤務にもスムーズに繋がられたそうです。チームの桑田知子さんは「システムなどを活用し、さらに働きやすい環境を作りたい」と話します。

「一歩踏み出せる環境を整え、社会と社員にとって良い会社に成長させたい」と小泉社長は次なるステップに期待しています。

さんそうでんき

三相電機(株)

姫路市青山北一丁目1番1号 ☎079-266-1200

モータ・ポンプメーカーの三相電機は、全員参加型の「改善オリンピック」や現場で働く女性の職場改善を目指すプロジェクトなどを通じ、従業員全員が働きやすい会社を目指している。

産業機器用モータや飲料用の海水淡水化装置など

産業機器用モータや特注仕様ポンプなどを供給している三相電機。ポンプ技術を応用し、魚の養殖用に酸素を液体に溶解する装置や、飲料用に海水を淡水化するユニット製品なども手掛けています。

働きやすい職場づくり

同社では2013年、従業員全員が参加する「改善オリンピック」をスタート。2~3人のチームで毎月1件の改善を行い、それぞれの改善は「整理」「整頓」「清掃」「その他(アイデア、努力など)」の4項目で評価、全ての改善に点数をつけ、評価が分かるようにしています。評価されることで喜びを感じ、達成感を感じている従業員もいます。

現場で働く女性の声を活かし職場を改善

さらに現場で働く女性の職場改善のために3年前に発足したのが組立課の「女性改善プロジェクト」。立ち上げメンバーの楠敦子さんと田中夕妃さんは、同時期、女性管理職として課長補佐に昇進しました。プロジェクトでは、重量物を持ち上げやすくするための昇降機の導入や休憩室をフローリング仕様に変え、水槽や緑を置く環境改善などに取り組んでいます。「コミュニケーションをよくしていくことで率直な声を拾い上げ、さらに働きやすくなるようにしていきたい」と2人は話します。



ミーティング中(女性改善プロジェクト)

「従業員全員が主役に」を掲げる同社。統括管理部長の榮永悟さんは「男女区別なく、従業員の声を活かす取り組みを続けながら、日々前進していく会社でありたい」と話しています。

- 令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- えるぼし認定企業

公式サイト



- 設立(創業)/1957年
- 資本金/8億7,800万円
- 売上高/137億1,900万円(2020年3月期)
- 従業員数/360名
- 平均年齢/42.8歳



田中課長補佐(左)と楠課長補佐

じえーしーあーるふぁーま

JCRファーマ(株)

芦屋市春日町3-19 ☎0797-32-8591

男女の分け隔てなく採用を進めるJCRファーマ。社員の女性比率は現在37%にまで増え、管理職に占める女性の割合は2011年の5.4%から19年には10.7%に上昇している。

女性社員が半数を占める研究職

遺伝子工学などのバイオ技術を用い、希少疾病・難病に特化した医薬品開発に取り組む同社。研究職では女性社員が半数を占め、事業が拡大している近年は採用数を増やしていることで若年層での女性社員の比率がさらに上がっています。

高3の娘を持つ研究本部研究管理部長の浅田亜希さんは、厚生労働省への新薬承認申請手続を行う部門の長として大きなやりがいを感じているそうです。「先輩の女性社員は出産・育児で辞めていく人も多く手探りのことも多かったのですが、不安な時は周囲の社員に相談しながら支えてもらいました」とこれまでを振り返る浅田さん。「後輩の女性社員にとってのロールモデルに」を意識しつつ、20人の部下に対しては、フラットに接し、話しやすい雰囲気づくりを心がけているとのこと。

- 平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- くるみん認定企業
- えるぼし認定企業

公式サイト



- 設立(創業)/1975年
- 資本金/90億6,186万円
- 売上高/247億8,100万円(2020年3月期)
- 従業員数/654名
- 平均年齢/41.4歳



会社の成長とともにキャリアを積み重ねた浅田亜希さんは後輩女性社員にとってのロールモデルを意識しています

増える女性マネージャーがロールモデルに

「当社では男女隔てることなく評価を行っているので、あえて女性活躍という認識をすることなく実力で昇進させている」と芦田信会長。経営企画本部で広報・



社内託児所では男性社員が送り迎えする姿も当たり前のことになっています

IRを担当する入社11年目の小山ゆりさんは「社内で先輩女性管理職の方々の声を聞く機会がありキャリアをイメージしやすい」と話します。同社では職場や上司の満足度に関するアンケートで出てきた課題に対処する仕組みも整えており、働きやすい職場づくりに向けた取り組みをさらに進めていく考えです。

せいばん (株)セイバン

たつの市龍野町片山379-1

ランドセルメーカーのセイバンは近年取り組んできた生産改革により、定時内で効率よく生産できるようになり、子育てなど時間に制約のある社員でも働きやすい環境が整ってきている。

支え合い、効率の良い生産が可能に

ランドセルは以前に比べ色、機能などが多様化し、きめ細かい生産が求められるようになってきました。そこで、需要に応じて機動的に生産できるようにする改革に取り組んできました。とくに注力したのが多能工化です。前ポケット、肩ベルトなどのパーツごとにグループ分けし、グループ内の数ある工程はだれでもこなすことができる事を目標にしています。また、だれかの作業が滞るとすぐにサポートに回るようにしました。1日の生産目標に向け、定時内で達成する意識が醸成され、時間外労働の削減にもつながりました。



2020年竣工の新社工場

- 設立(創業)/1919年
- 資本金/4,500万円
- 売上高/非公開
- 従業員数/285名
- 平均年齢/40.3歳

🏆平成30年度 ひょうごオンリーワン企業
🏆平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

公式サイト



「気兼ねなく休めるようになりました」

入社以来、企画、製造部門を経験してきた竹添奈津希さんは男児を出産した後育児休暇を取得。2019年5月に職場復帰を果たし、現在は短時間勤務制度を利用しています。「以前は休むと工程が滞るため休みづらかったのですが今は気にせず休めるようになりました。何よりグループ内で助け合うようになり、さらなる改善に向けコミュニケーションも活発です」と笑顔で話します。



多能工化により育児と仕事を両立できる環境が整ってきたと話す竹添奈津希さん

20年7月にはたつの市に新工場が完成し、兵庫県にあった3工場を集約。さらに効率的な生産体制を構築するとともに社員食堂やリラクゼーションルームも導入しており、さらに働きやすい環境を目指します。取締役執行役員の泉扶実さんは、「生産現場の8割は女性。社員全員が支え合っより気持ちよく働ける環境を整えていきたい」と話しています。

ちゃいるどはーと

(株)チャイルドハート

神戸市西区今寺3番地の22 ☎078-783-2800

「仕事を持つ母親を応援したい」と1992年に保育事業を創業した木田聖子社長。だれもがストレスなく働き続けられる仕組み、風土を進化させ続けている。

公平さを保ち、やりたいことを応援

保育士それぞれの事情に応じて柔軟な働き方を認めてきた同社。2016年からはより公平感を保てるようにパート、短時間正社員、正社員から働き方を選ぶことができ、すべて時給制としました。また、有資格者がリトミックや習字などを園児たちに教える場合、ひと月5千円の手当を出すなど、保育士のやりたいことを常に応援する方法を考えてきました。

3人の子どもを持つ石崎英美さんは園長就任を機にパートから短時間正社員になりました。また、太田めぐみさんは短大卒業後正社員として働き続けています。離職率の高い保育業界の中で2人はともに勤続13年。「休みを取るのはお互いさま。辞めたいと思ったことは一度もない」と口をそろえます。

働き続けられる受け皿も整備

「社長は実は二人いるのでは」と社員がいぶかるほど、木田社長のフットワークは軽快です。三重や沖縄にもある全29園のミーティングに毎月顔を出し、一人ひとりの社員との面談を欠かしません。「私たちのことをいつも気にかけてくれています」。



チャイルドハートが大切にしている7つの社是

木田社長は保育園の経営状態を評価する第三者機関のNPO法人を立ち上げました。同社ならではのノウハウを生かすとともに、「全従業員の1割を占める60歳以上の24人の社員の受け皿にできれば」との狙いがあるとのこと。従業員ファーストの思いが徹底しています。

🏆成長期待企業
🏆平成28年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
🏆平成29年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

公式サイト



- 設立(創業)/2000年(創業1992年)
- 資本金/3,810万円
- 売上高/5億5,000万円(2019年9月期)
- 従業員数/250名
- 平均年齢/45.0歳



仕事プライベートも楽しければと語る太田めぐみさん。子どものぐさに思わず笑顔がこぼれます

早駒運輸(株)

神戸市中央区波止場町5-4 ☎078-321-0151

公式サイト



神戸港をめぐる旅客船「boh boh KOBE」を運航する早駒運輸。“男社会”の色彩が強い船舶業界で数多くの女性社員が活躍し、企画、サービス面で新しい風を吹き込んでいる。

- 設立(創業) / 1950年(創業1885年)
- 資本金 / 1億3,000万円
- 売上高 / 38億3,900万円(2019年8月期)
- 従業員数 / 137名
- 平均年齢 / 43.7歳

女性船員として道を切り開く

1885(明治18)年に沿岸荷役業で創業して以降、船を牽引する引船業などの港湾サービスなどを手がけ、神戸港の発展とともに歩んできました。さらに1996(平成8)年からは観光船神戸シーバスとして運航を開始。2006(平成18)年に就航した「ファンタジー」は14年間の神戸港での役割を終え、新たな旅客船「boh boh KOBE」が2020年夏に就航しました。現在、乗船スタッフや陸上職員などで女性社員の採用を増やしています。



船長として安全運航の長責を担う久保柚葉さん

boh boh KOBEの4人の船長のうち3人が女性です。久保柚葉さんは船乗りを目指して専門の短大を卒業後、入社しました。「女性への扉がまだまだ開かれていない業界にあって好きな道に進むことができ運がよかった」。操舵ではお客様が安心してクルーズを楽しめるよう、安全運航を心がけているという久保さん。「結婚、出産しても働き続け、女性船員としての道を切り開いていきたい」と話します。

機関長を目指して奮闘中

船乗りの父の影響で、小さい頃から船が大好きだった向山沙央里さん。船の機関部で、エンジン(主機関)、発電機、ボイラー、その他各種機器の管理、また神戸港の見どころ案内も行っています。「お客様が楽しんでくださると、とても嬉しい」と話し、今は機関長を目指して日々勉強しています。



機関室でエンジンの整備や点検を行う向山沙央里さん

神戸港ウォーターフロントエリア(メリケンパーク~ハーバーランド広場)において、公共施設の指定管理業務も受託している同社。渡辺真二社長は「女性ならではの発想を生かしながら神戸港にさらににぎわいを生み出していきたい」と先を見据えています。

(株)阪技

高砂市荒井町東本町19-23 ☎079-443-4405

公式サイト



同社では経営の中枢と位置付ける総務部門で働く社員15人のうち14人を女性が占めている。長い目でキャリアを積んでもらうためにそれぞれの良さを生かせる人材配置に力を入れている。

👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

- 設立(創業) / 1981年
- 資本金 / 1,000万円
- 売上高 / 16億円(2019年12月期)
- 従業員数 / 240名
- 平均年齢 / 36.2歳

取引先に感動を与える会社に

大手重工業、重電メーカーの協力企業として、発電機器などの設計から生産技術、品質保証、システム開発まで、ものづくりに関わる一連のサービスを提供している阪技。「ただ依頼された仕事をこなすだけではなく、取引先に感動を与えられる会社に」と後藤純次社長。そのためにその人の良さを生かせる人材の配置に注力し、「自分自身で考え、行動できる」人材の育成に努めています。



女性社員たちの活躍は、会社にイノベーションをもたらす力になると期待されています

それぞれの良さを生かして社員が輝けるように

新入社員は3カ月程度の研修を経た後に、現場で2次研修に臨み、それぞれの良さを伸ばせる場所を見極めたうえで配属が決まります。入社3年目の矢野萌子さんは新入社員の研修を担う社内講師のアドバイザー役を務めています。「初心者から会社でシステムを学んだ経験を生かし、分かりやすく教えることを心掛けている」そうで、自ら発案し、日常の仕事をより効率化するシステム発想を養う研修も行っています。同じく入社3年目の黒崎充香子さんはデザイン分野を学んだ経験を生かし、社内外の発信媒体のデザインのほか議事録を分かりやすく可視化するグラフィックレコーディングの仕事を任されています。



阪技は「自ら考えて動く人」を求めています

「会社の方針を社員に分かりやすく伝える仕事にやりがいを感じる」と黒崎さん。「出産を経て復帰しいきいき働いているロールモデルになる先輩をお手本にしながら働きたい」と二人はともにこの会社でのキャリアアップを思い描いています。

ふえりしも

(株)フェリシモ

神戸市中央区浪花町59番 ☎078-325-5555

カタログやオンラインでファッション、生活雑貨を販売するフェリシモ。近年は男性社員による育児休業を取得するケースも増え、仕事と生活を両立する風土が根付いている。

- ▲平成23年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- ▲平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- ▲くるみん認定企業

公式サイト



- 設立(創業)/1965年
- 資本金/18億6,800万円
- 売上高/286億700万円(2020年2月期)
- 従業員数/787名
- 平均年齢/42.8歳(正社員のみ)

若手・中堅にリーダーを任せ、成長の場に

30~40代女性向け服飾雑貨カタログ「イディット」で商品企画を担当する柏木花菜子さんには中3の息子、小5の娘がいます。そもそも就職活動の際、「結婚、出産しても働き続けられること」を条件に会社を選び、入社したとのこと。第1、2子の出産とともに育児休暇を取得し、短時間勤務制度やフレックスタイム制度を活用しながら育児と仕事を両立してきました。



柏木花菜子さん(右から2人目)と「イディット」チームのメンバー。育児をこなしながら仕事でも輝いています

パートを含めると全従業員の85%以上が女性の同社。中でも柏木さんが籍を置く「イディット企画チーム」はメンバー10人中9人が女性で、うち5人が出産を経て職場復帰を果たしています。「だれかが急な子どもの病気で有休を取らざるを得ない時でもお互いさまの気持ちでいられます」。また、柏木さんは、現在、「MEDE19F」というブランドのリーダーもしており、同社では若手、中堅、女性、男性に関わらず、リーダーをまかせ、従業員の成長機会としています。

それぞれの働き方を支えられるように

商品のターゲット世代と重なるだけに自身が普段感じることをそのまま企画に生かしヒット商品を送り出している柏木さんは「これからも好きな企画に携わっていきたい」と考えています。自らも以前、育児休業を取得した総務部の山崎力さんは「柔軟な発想を生み出し、働きがいを感じられるような制度を考えていきたい」と、従業員がより働きやすいよう後押ししていく考えです。



フェリシモ オリジナル商品

めっく

メック(株)

尼崎市杭瀬南新町3丁目4番1号 ☎06-6401-8160

創業時からだれもが多彩な能力を発揮できるような職場作りを進めてきたメック。担当事業部門を統括する執行役員8人中3人が女性であるなど、男女ともに活躍できる風土ができています。

- ▲平成26年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- ▲平成28年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- ▲兵庫県立地支援企業 ▲くるみん認定企業

公式サイト



- 設立(創業)/1969年
- 資本金/5億9,400万円
- 売上高/108億6,500万円(2019年12月期)
- 従業員数/231名
- 平均年齢/42.1歳

創業当初から目指す働きやすい風土

5GやIoT、クルマの自動運転等で注目が集まるエレクトロニクス分野を支える電子基板・部品製造に使用される薬品の開発、製造・販売を行う研究開発型メーカー。創業の頃から男女の区別なく有能な人材を求めてきた。創業者は、男女それぞれで違う能力を生かすべきと考え、しなやかさを持つ女性の特性を尊重し、長く働き続けてほしいと考えていました。「経験を積み、能力を身に着けた人が出産で退職するのは非常にもったいない。人は簡単に育ちません。」と前田和夫社長。現在は介護など様々な事情を抱えた社員がストレスなく働けるよう取り組みを進め、2019年にはフレックスタイム制度を取り入れました。だれにでも活躍の場を提供し、中長期に資する成果を上げた人に報いる機会平等型の評価・処遇の確立を目指しています。



本社

男女を意識することなく、仕事に打ち込める

2015年執行役員就任、現在、研究開発本部長の中村幸子さんは、約30年前「男女分け隔てなく待遇しているし、仕事も分け隔てない」という言葉に期待をもって入社しました。「管理職につき得難いチャンスが与えられた。男女を意識する必要はなく、課せられた仕事を精一杯やり遂げることだ」と話します。そして自身の出産育児を振り返り、「今は制度が整ってきているし、男性の理解もより進んでいる。それらを活用してほしい。一方で制度に甘えず自分の責任で仕事も生活も両立させるという強い意識を持ってやってほしい」と話しています。



ある日の業務風

学生に知ってもらいたい注目の企業

兵庫県からの情報…「働くときのルール」その1

あこうかせい

赤穂化成(株)

赤穂市坂越329番地 ☎0791-48-1111

赤穂化成は、江戸時代から続く製塩技術を継承し、総合ミネラルメーカーとして食塩から健康食品、食品添加物、医薬品原料、工業用原料に至るまで多彩な商品を生産している。

総合ミネラルメーカーとして発展

江戸時代より塩田による日本の塩づくりを先導してきた赤穂地域。1971年には塩田による製塩は廃止されましたが、赤穂東浜塩田の流れをくむ赤穂化成は、自然塩運動に応える形で「赤穂の天塩^{あましお}」を商品化。以降、高知県室戸沖で採取した「海洋深層水」が、血液サラサラ飲料として注目され、大ヒット。その後もおいしく塩分補給できる「熱中対策水」など社会に役立つ商品を開発してきました。

また、ミネラルの技術を生かした医薬品原料のほか、食品添加物や特殊黒色顔料、豆腐の凝固剤等をラインアップ。「様々な分野の商品があるため、不況に強いというのが特長。思わぬ所で自分たちの商品が使われていたり、お客様に“ありがとう”という言葉をかけていただけたりと、社会に役立っている実感がやりがいにつながります。」と専務取締役の池上幸志さん。

チャレンジでき、風通しの良い社風

熱中対策水や特殊黒色顔料をはじめ同社のヒット商品の多くは社員からの発案で生まれたもの。誰もがアイデアを出し、それを尊重する風土が社内に根付き、希望者は誰でも参加できる英語研修が週2回行われるなど、挑戦を促す場も用意されています。



汗に近い成分を補給できる熱中対策水

新入社員歓迎ボウリング大会や秋のスポーツ大会、10年ごとの節目に行われる海外旅行などの行事も多く、風通しの良い社風が築かれています。池上さんは「先入観にとらわれない発想で新しいことにチャレンジしてほしい」と呼び掛けています。

👑令和元年度 ひょうごオンリーワン企業

公式サイト



- 設立(創業) / 1971年
- 資本金 / 3,000万円
- 売上高 / 100億円以上 (2020年3月期)
- 従業員数 / 205名 AKOグループ連結
- 平均年齢 / 41.0歳



2020年度の入社式

あわじめんぎょう

淡路麺業(株)

淡路市生穂新島9番15号 ☎0799-64-0811

淡路麺業は、2007年以降、それまでのうどん製造から生パスタ製造へと業態を切り替えた。全国3000軒の飲食店に生パスタを販売し、家庭用市場にも切り込もうとしている。

五つ星ホテルや有名レストランでも使用される生パスタ

うどん専門メーカーとして100年近く歴史を刻んできた同社が、うどん事業の厳しい先行きを見越し、生パスタ事業に大きく舵を切り替えたのは2007年のこと。うどんに代わる事業を模索する中でたどりついたのが生パスタでした。「うどんやそば、ラーメンは生麺が主流なのになぜパスタは乾麺が主流なのか?という疑問を抱き100年以上の麺づくりのノウハウを活かして本当においしい生パスタを提供できるのではと考えた」と5代目社長の出雲文人さんは振り返ります。



定番商品から季節限定商品など40種類以上の生パスタを製造

試作を500回以上繰り返して完成した生パスタは、小麦本来の風味が豊かでしっかりとしたコシと弾力が特徴。

また、生パスタを販売するだけでなくラボと呼ばれる社内のキッチンスタジオで調理講習会を実施したりそれぞれの生パスタに合ったレシピを提供したりと繁盛サポートも充実しています。そうした取り組みが評価され今や販売先は全国に3,000軒にのぼり、大手ファミリーレストランや星付きホテルなどでも使用されています。

プロが愛用する生パスタをご家庭でもおいしく



2019年7月8日(生パスタの日)に発売した一般消費者向け商品

近年はプロ向けの生パスタにとどまらず、ご家庭でも調理しやすい一般消費者向けのパスタやソースなどの開発にも注力しています。「健康、美容などの機能を加えるなどまだまだ生パスタの可能性はこれから」と出雲さん。「淡路島から日本のパスタ文化に革命を起こす」と意気込んでいます。

👑成長期待企業

👑兵庫県立地支援企業

公式サイト



- 設立(創業) / 1909年
- 資本金 / 1,500万円
- 売上高 / 9億4,000万円 (2020年3月期)
- 従業員数 / 78名
- 平均年齢 / 33.0歳

(株)ウィル

宝塚市逆瀬川1-14-39 ☎0797-74-7272

1993年の創業以来、顧客本位の視点で不動産業界に新風を送り込んできたウィル。社内コミュニケーションを大切に社風で伸び伸びと働く社員が顧客との信頼を支えている。

顧客本位を貫き、業界の常識に挑む

不動産仲介に加え、近年は付加価値を持たせつつ中古住宅を美しくよみがえらせるリフォーム事業の伸びが顕著です。「日本は新築指向が根強かっただけに今後中古リフォーム市場が伸びる余地は大いにある」と社長の坂根勝幸氏は今後を見据えます。

不動産業界内では当たり前とされてきたことを顧客視点でとらえ直し、新たな挑戦を続けてきました。業界初の平日会員制度、リフォーム付き住宅ローンなど枚挙にいとまがありません。なにより営業で大切にしているのが「お客様代行」の考え方。「お客様の代弁ができるほどにお客様のことを理解してから物件をご紹介します」ことで信頼を築いてきました。

「会社は人生を面白くするためのツール」

業界に新風を送り続けてこられたのは伸び伸びした会社の風土あってこそ。原則中途採用はせず新卒採用のみで人材を集め、新卒内定者が参加する全社バーベキュー大会や、内定式(運動会)を含む年4回の研修旅行など社内行事に力を入れています。「会社は人生を面白くするためのツール。会社に使われるのではなく会社を使えと社員には常に伝えている」と坂根氏。



2018年の内定式(=運動会)の一場面

2019年2月、「地域に恩返ししよう」という社員の思いから空床が目立つ本社に隣接する商業施設を取得しました。テナントの誘致やイベントの開催で地域を盛り上げます。これからも、ウィルだからこそできることで顧客、地域に根差した事業を展開していこうとしています。



1983年築のマンションのリノベーション事例

- 設立(創業)/1995年(創業1993年)
- 資本金/2億7,778万円
- 売上高/62億6,000万円(2019年12月期)
- 従業員数/235名(グループ全体)
- 平均年齢/29.0歳(ウィル単体。正社員のみ)

公式サイト



ウシオ精工(株)

神崎郡福崎町南田原696 ☎0790-22-1089

金属のプレス加工と樹脂の射出成形を組み合わせた加工を得意とし、自動車電装部品から日用品の容器まで幅広く手掛ける。効率よく不良品を出さないよう工夫と努力を続ける。

品質保証とコストダウンを両立

金属切削加工で創業し、自動車のオルタネーター(発電機)部品の受注を契機に樹脂成形加工にも進出しました。これにより金属樹脂複合部品の一貫生産が可能になりました。現在は「自動車電装部品」のほか、機械の制御に使われるPLCケースなどの「産業機器電気部品」、芳香剤の容器など「民生用プラスチック部品」の3事業を手掛けています。金属加工からインサート成形まで一貫で対応できる体制で得意先からも大きな信頼を得ています。

不良品を発生させない高いレベルの品質保証と、絶え間ないコストダウンの要請に応えるため、自動化機械や検査機器の投資が欠かせず「どこまでを自動化するか、いかに機械を組み合わせるかノウハウを蓄えてきた」と谷口守男社長。

「社員の成長が会社の成長につながる」

谷口社長は「社員が会社で成長することが人間の成長につながり、それが会社の成長につながる」と話します。2017年には生産用には使わないマシニングセンター(切削機)を導入。「使いたい人が自由に使って、新しいことに挑戦してくれれば」。また、入社3年目以上の社員には国家資格であるプラスチック成形技能士の資格取得を促し、現在までに特級を1人、1級を5人、2級を17人が取得しています。



工場内設備 生産ライン

「これからも地域に密着しながら若い社員を採用し、安定してよい製品をつくり続けるために改善を重ねていきたい」と話しています。



第2工場遠景

- 設立(創業)/1962年
- 資本金/3,700万円
- 売上高/41億8,100万円(2019年10月期)
- 従業員数/197名
- 平均年齢/44.0歳

公式サイト



かこてくのす

(株)カコテクノス

神戸市須磨区大田町7丁目4-2 ☎078-732-3851

新幹線をはじめとする鉄道車両向けのブレーキ装置や保安装置、発電所、変電所向けには万一の事故や災害時に瞬時に電気を遮断する装置など「止める技術」で社会に貢献している。

鉄道車両の半数でブレーキ装置が採用

「止める技術」には制御する技術だけでなく、システムを塵や水、振動などの過酷な環境から守る筐体の技術も含めた総合力が問われます。こうした装置の設計・開発から組み立て、試験までを一貫して担い、国内を走る鉄道車両の2台に1台は同社の装置が使われています。

3年前にはブレーキ装置・保安装置に欠かせない回転速度センサを開発し、断線しにくいコイルの配置で特許を取得。2016年に「ひょうごオンライン企業」と「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を受賞、17年に地域未来牽引企業に認定されました。今後は回転速度センサのラインアップを増やすなどして海外マーケットの開拓にも注力していく予定です。

個々の研鑽とともに、横のつながりも大切に

会社の“考動”指針スローガンとして「Getting better よりよく、もっとよりよくを目指して」を掲げています。創意工夫活動では毎年1人平均10件以上の改善提案が出され、優秀な提案は毎年、兵庫工業会で表彰を受けています。こうした一人ひとりの研鑽に加え、「当社の製品はさまざまな部門が力を合わせ最終的に一つの



ヒューマンエラー防止勉強会

ものをつくり上げていくため横の連携が重要」との考えから、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動などに部門横断メンバーで取り組んでいます。2018年に続き19年5月にも運動会を行いました。「社員の一体感を高めることが目的」です。求める人材は「自ら考えて行動し、向上心を持って働ける人」です。

- ▲平成28年度 ひょうごオンライン企業
- ▲平成28年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- ▲成長期待企業

公式サイト



- 設立（創業）／1961年（創業1935年）
- 資本金／7,700万円
- 売上高／60億3,900万円（2019年11月期）
- 従業員数／246名
- 平均年齢／44.3歳



展示車両での模擬試験訓練

かわにしこうくうきこうぎょう

川西航空機器工業(株)

川西市下加茂2丁目1番6号 ☎072-759-4145

航空機向け部品を製造して50年を超える。主体の防衛省向けに加え、近年は民間航空機向けを強化。広がる事業機会をとらえるべくチャレンジできる風土を育てようとしている。

安全を徹底し、航空・宇宙市場で信頼を築く

航空機の製造に欠かせない、ねじを締め付けるためのワッシャー、部品同士のすき間を埋めるためのシム、配管を固定するためのクランプなど航空機に使われる規格品を五千種類ほど製造しています。これらの部品は国内の機体メーカー、エンジンメーカー全てで採用されており、最終的に自衛隊や航空機メーカーの飛行機、船に使われています。

長年の実績で築き上げた信頼を強みに、国際宇宙ステーション日本実験研究棟「きぼう」の空調機材なども手がけてきました。最大の強みは、材料選定から製造、表面処理、非破壊検査、組立、品質保証までをすべて一貫して担っていること。「すべての工程において絶対安全の意識を徹底させています」と小寺久志社長。

ビジネスチャンス見据えチャレンジする風土醸成

近年特に力を入れて取り組んでいるのが民間航空機分野です。世界的に成長市場と期待される分野ですが、その分競争も激しくなることが予想されます。「これまでの信頼の上に挑戦する風土を醸成させていきたい」との思いから、人材教育



航空機の品質を確保するため、日々綿密な検査をしています

をシステム化するとともに、製造、技術、営業、品質保証など多様な部門をローテーションさせることで幅広い視野を身に付けてもらおうと考えています。「部品にとどまらず、いずれはシステムの装備品も任されるようチャレンジしていきたい」と先に広がるビジネスチャンスを見据えています。

- 設立（創業）／1967年（創業1950年）
- 資本金／6,000万円
- 売上高／10億200万円（2020年5月期）
- 従業員数／98名
- 平均年齢／40.6歳

公式サイト



大企業に負けないスペックと企業風土で、地域の子どもの憧れになれる企業をめざしています

きょう

(株)基陽

三木市別所町小林477-10 ☎0794-82-2304

建設現場で使われる安全帯(命綱)や工具袋などを製造する基陽。入社2~4年目の若手社員が主体になってそれぞれの得意分野を寄せ合いながら新製品の開発に取り組んでいる。

入社2~4年目で商品開発

「職人の声に徹底的に寄り添う」ことを道具作りのモットーにしている同社。現場からの要望や不満に応えながら、安全帯や工具袋などを次々に送り出しています。大学で工業デザインを学んでいた安藤風子さんは「デザインで社会の課題を解決したい」と入社。2019年末に社長から、新商品開発をミッションとするデザイン部の主任をまかされました。現在、入社4年目の安藤さんが、入社3年目、2年目の女性社員を束ね、3人で新しい価値を提供できる安全帯の開発に取り組んでいます。現場の職人を訪ねて声を拾い、既存の商品を1日身に付けるなどして、商品開発のヒントを得ています。

- 🏆平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞
- 🏆成長期待企業
- 🏆平成27年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆平成29年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

公式サイト



- 設立(創業)/1975年
- 資本金/1,000万円
- 売上高/14億7,900万円(2020年5月期)
- 従業員数/37名
- 平均年齢/40.5歳



それぞれの得意分野を生かして新製品の開発に取り組む安藤風子さん(左)と久米梨佳子さん

それぞれの得意分野を生かす

安藤さんが大切にしているのは「それぞれの得意分野を生かすこと」と「自由に意見が出せる雰囲気をつくること」。メンバーの1人、入社2年目の久米梨佳さんは「自分が建築現場で働きたい」というほどの強い思い入れを持っており、自身が身に付けたいと思えるアイデアを活発に出しています。「何を言っても否定せず、受け入れてくれるのがうれしい」と久米さん。商品開発は大詰め段階まで来ており「早く現場の人に使ってもらい、すごい製品を開発したねと喜ぶ姿をみたい」と久米さんは今から製品が出来上がるのを楽しみにしています。



落下事故から命を守る安全帯(墜落制止用器具)

きんきこうぎょう

近畿工業(株)

三木市別所町巴20番地 ☎0794-82-0100

様々な廃棄物をリサイクルするための機械を製造する環境機器メーカー。近畿工業の製品は、ゴミ処理・家電リサイクルなどの分野で使用され、地球環境保全に貢献している。

創業70年を誇る業界のリーディングカンパニー

人々の生活の中では、決まった曜日に出すゴミ、使わなくなった家電等、様々な廃棄物が出てきます。これらは、全国のクリーンセンターや、リサイクルする会社で適正な処理がなされています。その過程で使用されているのが近畿工業の製品です。「モノを細かく砕く」「素材ごとに分別する」などの処理を行っています。

環境問題は世界的な社会問題であり、その関心と市場は今も拡大し続けているため、直近5年間で、製品の売上は1.3倍に伸びています。

- 🏆平成29年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞

公式サイト



- 設立(創業)/1953年
- 資本金/6,500万円
- 売上高/54億7,100万円(2020年7月期)
- 従業員数/180名
- 平均年齢/38.0歳



多様化するリサイクルニーズ

変化し続けるリサイクル技術の需要に応えるため、新技術・製品の開発が必要です。例えば、「太陽光パネル」。2040年には約80万トンが廃棄されるとされており、現状の埋立処分では到底処理が完了しません。そのため新しいリサイクル技術が求められている中、2014年に設立された同社の「近畿メカノケミカル研究所」では、太陽光パネル専用処理設備「ReSola」を開発しました。



新工場のトモエファクトリー

また、生産面においても、今後さらなる拡大が見込まれるリサイクルニーズに対応するため、2020年春より新工場の稼働を開始しました。ロボット技術、機械加工工程の多くを自動化することで、生産効率を向上させ、生産量の増加や短納期の対応が可能となります。

桑村繊維(株)

多可郡多可町中区曾我井315 ☎0795-32-1180

桑村繊維は、北播磨地域に集積する播州織業界の中で早くからオリジナルの織物を企画提案しており、近年は国内だけでなく海外市場の開拓にも注力している。

公式サイト



- 設立(創業) / 1950年(創業1928年)
- 資本金 / 2億1,000万円
- 売上高 / 82億3,300万円(2019年9月期)
- 従業員数 / 129名
- 平均年齢 / 43.0歳

各部門で企画し、独自商品を提案

江戸時代から当地に根付く播州織の特徴は、糸を織り上げる前に染める先染めの製法によって織物が作られることで、織物に豊かな色合いと風合いを与え、色落ちしにくいなどの利点を持っています。その播州織のリーディングカンパニーとして業界を牽引し続けているのが桑村繊維です。



桑村繊維株式会社 本社

同社の事業部門は素材や顧客ごとに9つに分かれ、各部門に企画担当者、デザイナーを配置し、レディースやメンズのファッション衣料向けを主体に独自に開発した生地を顧客に提案しています。「入社3年目ほどで企画やデザインを任せており、各部門で競い合いながら開発できる環境がやりがいにつながっているようです」と総務部長の飛田幸伯さん。

女性活躍の場、さらに

国内の消費が頭打ちになっていることから近年注力しているのが輸出です。ニューヨーク、パリ、上海などの展示会に積極的に出展を続けており、「メイドインジャパンに対する品質への評価が高い」ことから現在は売りに占める輸出比率は15%にまで高まっています。



播州織総合素材展2020 当社ブース

最近では各部門でInstagramを活用した商品の情報発信も始めており、新たな顧客開拓にもつながっているとのこと。「もっと女性社員に営業にも出てもらい生の声を商品開発に生かしてもらうなど、女性活躍の場も広げていきたい」と話し、時代に合わせた方法で活路を開こうとしています。

シバタ工業(株)

明石市魚住町中尾1058番地 ☎078-946-1515

1923年の創業以来、ゴムを使った幅広い製品を送り出してきた企業だ。近年は同じゴムで「安全・防災・環境」に役立つことをテーマに、新しい製品を次々に開発、社会への貢献を目指している。

公式サイト



- 設立(創業) / 1923年
- 資本金 / 9,700万円
- 売上高 / 141億円(2020年5月期)
- 従業員数 / 388名
- 平均年齢 / 41.0歳

「安全・防災・環境」に役立つ商品を

ゴム履物類の製造販売でスタートし、ゴムの特性を活かした様々な製品を世に送り出してきましたが、1995年の阪神・淡路大震災が大きな転機となりました。使命感に燃えた若手社員が被災地を見て回った際、高速道路の橋桁が外れた光景を見て、「この橋を通ることができれば、多くの命を救えたのでは?」と感じたことから産まれたのが橋桁の落下を防ぐ“緩衝チェーン”です。これを機に「安全・防災・環境」に役立つ製品開発が会社のテーマとなりました。



【船体取付式防舷材】世界トップシェア!あらゆる船の形に合わせるオーダーメイド。シバタ工業の独自技術あり!

また、マレーシアやドバイ、欧州等、海外拠点から全世界に向けて製品を発信しています。なかでも“船体取付式防舷材”は世界一のシェアを誇っています。

創業100周年に向けブランドロゴを一新

社は「素直な心、敬愛の心、感謝の心」。新しい提案、製品開発には、強力なチームプレーが求められます。生産・技術・企画・管理等各部門がワンフロアに集まり、部門を越えて密接に連携しているのが強みです。

全社員で投票し順位を決める改善提案(総選挙)制度では、キャリアに関係なく若手の意見も平等に評価されます。2023年の創業100周年に向け、一新された会



【ロゴマーク】安心して生活できる環境や美しい自然の景観を次の世代に引き継ぐために、果敢に挑戦していきます

社のロゴマークは、培ってきた技術力と、これからの発展を表しています。現状に満足することなく全社一丸となって“シバタ工業にしかできないことにさらに磨きをかけていきたい!”と総務人事部の藤本雄大さんは話します。

(株)シュゼット・ホールディングス

西宮市久保町5-16 ハーバースタジオ43南館 ☎0798-36-8700

公式サイト



「高級菓子の複合体」を目指して4つのブランドを擁し、代表商品であるフィナンシェは年間販売個数でギネス世界記録®を達成。積極チャレンジ人材の育成に力を入れ、洋菓子市場を牽引している。

- 設立(創業) / 1969年
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 249億円(2019年9月期)
- 従業員数 / 2,620名
- 平均年齢 / 30.4歳

50年、100年愛される菓子作りを

1969年の創業ブランドで高い認知度を誇る「アンリ・シャルパンティエ」、ティラミスなどの商品群で若い世代から支持を集める「シーキューブ」、ミルクレープなど重ね菓子の魅力を発信するまったく新しいブランド「カサネオ」、クリームがこぼれそうなクリームパンで人気の「バックハウスイリエ」の4ブランドを展開。



年間販売個数でギネス世界記録®を更新中のフィナンシェ

「ブランドや店舗数を増やすことだけを目指すのではなく、50年、100年愛される菓子をつくっていききたい」と総務人事部部長の藤岡裕司氏は話します。

シュゼットの使命は、「たったひとつのお菓子から、心ときめくシーン^{まいしん}を演出する」こと。お菓子を通じて、「幸せ・喜び・驚き」を届けるために日々邁進しています。

積極的にチャレンジできる人材が活躍

それを可能にしているのが充実した社員育成の仕組み。朝礼や研修で唱和している企業理念や、「自ら考えて、動く」「違いを生み出す」「まずやる、すぐやる」などの行動指針にいつでも立ち返れるようにしています。高卒採用にも積極的で、昇給、昇格では実力主義を徹底。製造、販売、管理部門などの部門を超えて活躍する社員も多く、「転職せずともやりたい仕事が社内でする」こともあり、離職率は業界平均の約半分にとどまっています。



おいしい「コト」づくりを大切にしています

積極的にチャレンジする集団で、これからも永遠なるお菓子文化を築き、うるおいある世界を創造し続けていこうとしています。

The best-selling plain financier (cake) company - current (2017年10月1日~2018年9月30日:年間販売個数 29,089,988個)

神港精機(株)

神戸市西区高塚台3-1-35 ☎078-991-3011

公式サイト



最先端のものづくりに欠かせない真空の環境を作り出す「真空」の老舗メーカー。古くは鉄や半導体、そして近年は医療分野において同社の真空技術が貢献している。

- 設立(創業) / 1949年
- 資本金 / 3億7,500万円
- 売上高 / 58億8,400万円(2019年12月期)
- 従業員数 / 201名
- 平均年齢 / 46.0歳

モノづくり支える真空技術に磨き

真空とは大気圧より低い圧力の状態をいい、吸着、断熱、酸化防止(腐食防止)、防音などの特性を持ちます。その技術は身近な食品から宇宙分野まで幅広く使われています。真空中でガスを反応させて作る摩擦係数の低い(滑りが良い)DLC薄膜(ダイヤモンドライクカーボン)技術は、大手自動車メーカーの最高級車種の主要部品に使用されています。



若い世代が活躍できる職場です

技術と営業が一体になって

現在同社の真空技術が活躍する場はさらに広がりをみせています。真空はんだ付け装置もその一つ。はんだ付けの際、接合する金属表面に発生する気泡が10%ほど入ってしまうのが常ですが、真空中で溶融することで1%以下に抑えることに成功しました。これにより結合強度を高めることに寄与し、2007年に日本ものづくり大賞で優秀賞を受賞しました。

創業来、技術指向で発展を遂げてきましたが、眞下社長自身、営業畑を歩んだ経験から「お客様と社内の技術者とをつなぐ営業担当者のコミュニケーション力こそ技術指向型企業には欠かせない」と、技術と営業が一体になることの大切さを説いています。



創業100周年を目指しさらなる飛躍のため、若い力を求めています

すいこー

スイコー(株)

尼崎市西向島町86 ☎06-6412-5855

スイコーは、1966年にオランダから回転成形による樹脂成形法を国内に初めて導入した。以来、幅広い産業向けの大型容器から遊具まで多彩なポリエチレン製品を製造している。

令和元年度 ひょうごオンリーワン企業
成長期待企業

公式サイト



- 設立(創業) / 1963年
- 資本金 / 4,800万円
- 売上高 / 40億円(2020年8月期)
- 従業員数 / 138名
- 平均年齢 / 41.7歳

回転成形品の社会との関わり

回転成形法は、粉末樹脂を金型に投入、それを回転させながら、加熱・冷却する手法です。金型の製造コストが抑えられるため一品一様のオーダーに答えやすく、また継ぎ目なく一体的に成形品を作ることができます。それらの製品は、耐久性が高く、耐薬品性に優れています。



スイコー株式会社 本社

そのメリットを生かして、さまざまなポリエチレン用品を生産しています。最大の大きさでは、高さ7メートル、容量5万リットルを誇る大型容器を供給し、薬品貯槽や排水処理するためのタンクなどとして活用されています。また、災害発生時には生活水の運搬・貯水用として被災地で活用されている容器、さらには寸断された道路への道路防護柵も供給しています。

風通しの良い社風で“脱容器”も積極化

近年は容器だけに頼らず、幅広い用途向けに製品を開発しています。その一つが遊具。鉄製と比べて熱を持ちにくく、カラフルな色彩やデザイン性に優れるメリットを生かし生産量を増やしています。今後は、静電気が発生しにくい素材や透明なポリカーボネートなどの新たな素材も活用し提案の幅を広げていこうとしています。

上司との年4回の面談機会を作るなど風通しの良い社風が特長の同社。2020年



子供たちの未来を育む遊具

11月に社長に就任した横山俊介さんは「会社を第2の家族のように思っほしい。子育てや介護など家庭のことも相談しやすい会社にしていきたい」と話します。創業58年を迎えた今、「100年企業に向けてより強靱でしなやかな会社にしていききたい」と意気込んでいます。

せんごく

(株)千石

加西市別所町395 ☎0790-44-1021

自社ブランド「アラジン」で発売したグラファイトトースターが85万台を売り上げるヒット商品となっている。瞬間的に高熱になるヒーターの特長を生かした商品開発でさらなる成長を目指す。

平成29年度 ひょうごオンリーワン企業

公式サイト



- 設立(創業) / 1953年
- 資本金 / 9,600万円
- 売上高 / 161億1,700万円(2019年12月期)
- 従業員数 / 295名
- 平均年齢 / 41.0歳

トースターの販売台数は85万台に

2019年度の売り上げは161億円強。成長著しいのが自社ブランド製品です。もともと「アラジン」ブランドのストーブを製造していましたが、12年に大手電機メーカーからグラファイトヒーターの事業を丸ごと買い取り、これを活かした商品開発がスタート。トースターはその温熱特性により「外はカリッ、中はもっちり」焼き上がるおいしさがテレビ番組で取り上げられて火がつき、累計85万台を超えるヒット商品になりました。



本社社屋

企画、開発から製造、販売、さらにはコールセンターまで社内ですべて完結。「コールセンターと開発部門は同じフロアにありニーズや問題点が迅速に次の商品作りに活かされている」と千石唯司社長。

海外での売り上げを伸ばし、さらなる飛躍を目指す

グラファイトヒーターなどの基幹部品は国内工場、中級品の組立ては中国の2工場、大量生産品の組立てはフィリピン工場とすみ分けを考えています。「今後も自社ブランド商品を伸ばし、海外での売り上げに力を注いでいきたい」とグローバル企業としてさらなる飛躍を図るべく取り組んでいます。

「風通しが良い社風。挑戦マインドを持った人には活躍の場が用意されている」



Happy with Aladdin Magic

自社ブランド「アラジン」商品ラインアップ

と千石社長。今年はおいしさと便利さを兼ね備えた新しいタイプの調理器グリル&プレートを新たに商品化予定。今後も安全・安心やおいしさを追求した自社ブランド品を1年に一つは開発していきたいとの考えです。

高丸工業(株)

西宮市朝風町1-50 (JFE西宮工場内) ☎0798-38-9200

高丸工業は、ものづくりの現場の作業に合わせ産業用ロボットを組み上げるシステムインテグレーターとして、労働力不足に悩む中小企業へのロボット導入を後押ししている。

中小企業のロボット導入を支援

産業用ロボットとは、人間でいう肩から手首までの動きを自動化したアームロボットを指します。ロボットシステムインテグレーターは、現場で求められる作業に合わせアームロボットの手に当たる部品やその動きを制御するプログラムを開発し、最終製品に仕上げる役割を果たします。社長の高丸正さんはこれを「ロボットに命を吹き込む仕事」と言います。

同社はロボットシステムインテグレーターとして40年以上の歴史を誇り、開発だけでなく導入前テスト、コンサルティングまでを担うことでロボット導入を支援しています。「労働力不足や技能承継、少量多品種生産など中小企業ならではのニーズも踏まえサポートできることが強み」と高丸さんは言います。

高校生向けの見学会も開催

それぞれの中小企業で産業用ロボットを扱うには労働安全衛生規則に基づく資格が必要で、同社ではその資格取得ができる特別教育講習の場も設けています。昨年は約1,200人の受講者を受け入れました。

また、これからのものづくりを担う若い人材にロボットへの興味を持ってもらおうと、同社では高校生向けのロボットセミナーや見学会を行っています。「パソコンやスマホの扱いに慣れた高校生は理解も早く、現場を見てかっこいいと言ってくれます」。

こうした中小企業のロボット導入の取り組みは「日本を世界一のものづくり大国に」という思いに支えられています。



ロボットティーチング作業の様子

平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 選考委員会特別賞
ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2012 兵庫県知事賞
成長期待企業
兵庫県立地支援企業

公式サイト



- 設立(創業)/1967年
- 資本金/8,500万円
- 売上高/7億5,000万円(2019年8期)
- 従業員数/27名
- 平均年齢/40.1歳



広い工場には国内主要7メーカーの産業用ロボットを常設

中田工芸(株)

豊岡市日高町江原92 ☎0796-42-1131

高級ハンガーの代名詞としてギフト市場を強化している「NAKATA HANGER」。また、中田修平社長自身、育児休業を取得するなど働きやすい環境づくりも大切にしている。

ストーリーを大切にギフト市場狙う

ハンガーづくりの工程は、ブナなどの木をカットするところから、複数の番手のサンドペーパーで磨き、塗装に至るまでの大半を手作業に頼っています。

戦後間もない1946年に木製ハンガーマーカーとして創業して以来、アパレルや百貨店などBtoB向けで成長してきましたが、2007年に東京・青山にショールーム「NAKATA HANGER」を開設して以来、こだわりのハンガーをBtoC向けにも発信しています。「いいものを造れば売れるというわけではない」と社長の中田修平氏。ギフト用でかつ「ストーリーが語れること」を主眼に置き、市場をつくってきました。その一つが「ブライダル」の引き出物向けで「福を掛ける」のコピーが評判を呼んでいます。もう一つが「人生とともに歩むハンガー」として「卒業記念」向けで売り上げを伸ばしています。

社長自ら育児休業取得し、働きやすさ追求

海外市場の開拓にも挑んでいます。3年前、香港のテラーで行った展示即売が好評で、現在はシンガポールやマレーシアなどのほか、テラーの本場イギリスの市場開拓も進めているところです。



年齢や性別に関係なくチャンスがあり、皆が協力し合う社風です

日本らしい丁寧なものづくりで世界に挑む姿勢にひかれ志望する学生も増えているとのこと。そこで長く働いてもらえるよう、19年7月には中田社長自身、第2子の誕生を機に1カ月の育児休業を取得しました。「僕のあとに男性社員の育休取得者が続いてくれれば」と考えています。

ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2019 兵庫県知事賞
成長期待企業

公式サイト



- 設立(創業)/1946年
- 資本金/3,000万円
- 売上高/9億1,400万円(2020年4月期)
- 従業員数/65名
- 平均年齢/40.0歳



ハンガーの可能性を追求し、その魅力を全国・海外に届けています

(株)西村屋

豊岡市城崎町湯島469 ☎0796-32-3535

開湯1300年を誇る城崎温泉で純日本旅館の西村屋本館と西村屋ホテル招月庭を運営する西村屋。「地域と旅館は一蓮托生」という思いのもと観光で地域を盛り上げようとしている。

成長産業の一翼として地域に貢献する

まち全体が一つの旅館としておもてなしするという共存共栄の精神が浸透している城崎温泉にあって160年旅館・ホテル業を営んできました。城崎温泉を擁する豊岡市も人口減少が大きな課題となっている中、「日本における数少ない成長産業の一つである観光産業の一翼として、地域の人口減少の歯止めにも貢献でき

ば」と西村総一郎社長は語ります。2011年の社長就任以来、力を注いできたのが訪日外国人旅行客の獲得。パリに情報発信拠点を設立したほか、海外で開かれる旅行博にも積極的に参加しています。また、インバウンドに対するおもてなしを強化すべく、阪神間にも積極的に足を運んで採用に力を入れてきました。

地元に着目してもらうための投資を欠かさず

同社のサービスの特長の一つが客室で食事をしてもらう「お部屋食」。手間をかけたサービスを維持していくため、ITを活用しそれぞれの社員の休みの希望と宿泊者の予約情報とを照らし合わせて自動的にシフトを作成するシステムを導入し、働きやすい環境を整えています。また、独身寮のほか、結婚後も働けるよう家族用



温泉街風景

社宅の整備にも力を入れています。「私が引き継いだときよりもいい状態で会社も地域も次世代に渡したい。それが私の使命だと思っています」。7代目当主として、城崎温泉の持つDNAを受け継ぎながらさらなる発展を期しています。



歴史と風格を感じさせる西村屋本館の玄関

- 設立(創業) / 1951年
- 資本金 / 2,000万円
- 売上高 / 36億8,000万円(2019年8月期)
- 従業員数 / 324名
- 平均年齢 / 34.7歳

公式サイト



(株)ニチリン

神戸市中央区江戸町98-1 ☎078-392-1471

自動車やバイクで使われるホースの世界的なメーカーとしてグローバルに事業を展開。健康経営優良法人を取得するなど社員の健康に配慮した経営にも力を入れている。

ホース・配管の世界メーカー

油圧で操作するブレーキや冷媒となるガスを通すエアコン用ホースなど国内はもちろん、海外のメーカーにも同社の製品が使われています。また、シャワートイレの配管でも高いシェアを持っています。一言にホースと言っても顧客が求めるスペックは多種多様。素材加工から組立加工まで一貫した生産体制を構築することで、様々なノウハウが蓄積でき、お客様満足度向上につながっています。

同社は姫路市に本社機能をもつ工場を構え、海外で10カ所以上の生産拠点を展開しています。「私も20代の頃からのべ12年間、海外で勤務し、やりがいを感じることができました。意欲のある人はどんどんチャレンジできる風土があります」と前田龍一社長は語ります。社員の外国人比率も年々増加し、世界を身近に感じられるのも当社の特色です。

社員の健康は会社の財産

「社員の心身の健康を実現してこそ企業価値は高まる」との思いから近年は、健康診断の結果をもとにした健康指導を徹底しています。その取り組みが評価され「健康経営優良法人2020」に認定されました。



自動車部が出場した耐久レースの様子(左側)

また、社内には、フットサルやランニング、ゴルフ、釣り、自動車部などの同好会があり、社員同士のコミュニケーション促進につながっています。こうした取り組みが、風通しの良い社風を作っています。



当社の製品を搭載して走る鈴鹿8耐のバイク

- 設立(創業) / 1914年
- 資本金 / 21億5,800万円
- 売上高 / 610億7,300万円(2019年12月期)
- 従業員数 / 371名
- 平均年齢 / 41.9歳

公式サイト



ヒガシマル醤油(株)

たつの市龍野町富永100-3 ☎0791-63-4567

淡口醤油(うすくちしょうゆ)の元祖として知られるヒガシマル醤油。400年を超える伝統を受け継ぎながら、常に「ヒガシマルらしさ」を追求した商品開発を行い、日本の食を豊かにしている。

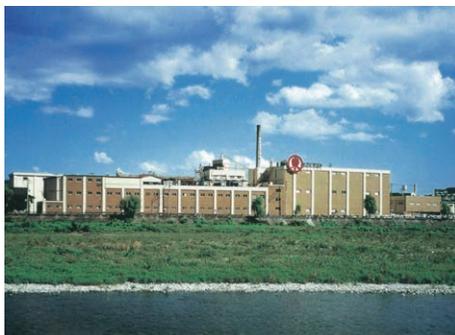
公式サイト



- 設立(創業)/1942年
- 資本金/1億円
- 売上高/176億6,000万円(2019年12月期)
- 従業員数/349名
- 平均年齢/42.3歳

高付加価値商品で利益率も向上

素材の味を引き出す和食の名わき役として欠かせない淡口醤油。少量で料理のおいしさ^{だし}と出汁味を引き出すことから濃口醤油より塩分摂取量が少なくて済むことが明らかになり注目を集めています。淡口醤油以外にも「うどんスープ」「揚げずいからあげ 鶏肉調味料」など業界を先取りした商品を数多く生み出してきました。



揖保川の東岸に位置するヒガシマル醤油本社工場外観

近年は安売り競争からの脱却を図り、おいしさの追求や地場産原料の活用など「ヒガシマルらしさ」を意識した高付加価値商品を次々に送り出しています。今後も、差別化された先発商品を開発し、「うすくちのやさしいおいしさ」と「安全で安心なおいしさ」を消費者に発信していきます。

国内市場でさらなる拡大目指す

お客様、取引先、地域、そして従業員に「ヒガシマルがあって良かったなあ」と心から言われる会社作りを目指す、という経営理念は戦前から引き継がれ、社風は「まじめ」と誰もが口をそろえます。若手社員にもチャンスの方が与えられ、播磨産カキを原料に使ったヒット商品「牡蠣だし醤油」は入社2年目の社員が開発したといいます。



淡口醤油1ℓバック充填ライン

食品メーカーの多くが海外へ市場を求め、国内の市場開拓余地はまだ大きい」と海外進出に目もくれないのも同社らしさです。「何より揖保川の伏流水でなければ出せない味だから」と龍野に根を下ろしてこれからも差別化された商品づくりを続けていきます。

フルヤ工業(株)

丹波篠山市大沢新110 ☎079-594-1111

柔らかい樹脂の成形を主に手がけ、色の異なる二つの同種材料、また2種類の材料を組み合わせる一体成形を得意としている。近年はシリコン素材との一体成形にも挑み、次なる成長を見据えている。

成長期待企業
平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

公式サイト



- 設立(創業)/1918年
- 資本金/4,500万円
- 売上高/16億8,800万円(2020年3月期)
- 従業員数/138名
- 平均年齢/38.3歳

プラスチックの一体成形技術に強み

樹脂のペレットを溶かして金型に流し込み、冷やして製品にするプラスチック射出成形加工を中心に、そこから派生した多様な樹脂の加工、それらを組み合わせる加工技術を広く扱ってきました。中でもエラストマーと呼ばれる柔らかい樹脂と、硬い樹脂を組み合わせる一体成形技術では追随を許さず、自動車、カメラ、衛生用品など私たちの身近な暮らしで使われる商品に数多く採用されています。



創業100周年を機に一新された社員食堂

「長く続けてこられたのは代々の経営者が常に先を見据え、新しい技術の習得に挑んできたから」と降矢寿民社長。特性がまったく異なるシリコンゴムと樹脂を組み合わせる難度の高い一体成形の生産ラインを取り入れた新たな市場を開拓しようとしています。テクニカルセンターを新設し、より精度の高い技術開発に磨きを掛けています。

手厚い福利厚生で、より働きやすい会社に

創業100周年を機に社員食堂を一新しました。モダンな空間で、1食200円の負担で3種類のメニューから選ぶことができます。また、4年前には事業所内託児所を整備して、社員の半数以上を占める女性従業員の定着につながっています。



事業所内託児所の整備は、女性従業員の定着につながっている

都心から離れているため人材確保に苦労して、早くからベトナム人の採用にも力を入れ、昨年からミャンマー人の受け入れも開始しました。毎年の社員旅行、創業記念日恒例の牛肉、赤飯、日本酒の支給など、手厚く温かい福利厚生で地元しっかりと根を生やしています。

松谷化学工業(株)

伊丹市北伊丹5丁目3番地 ☎072-771-2019

2019年でん粉ひと筋、創業100年を迎えた。「従業員は家族」「何事も果敢にチャレンジ」のびのびした風土のもと、でん粉の可能性を広げ続けている。

公式サイト



- 設立(創業)/1919年
- 資本金/1億円
- 売上高/554億3,000万円(2019年11月期)
- 従業員数/470名
- 平均年齢/43.0歳

でん粉の新たな可能性を引き出す

「でん粉」や「加工でん粉」は、「もちもち」「サクサク」とした食感や、「つや出し」=「保性」などの品質向上に欠かせず、パンや即席めん、レトルト食品、お菓子、飲料など多くの食品に含まれています。創業時はでん粉卸としてスタート。洗濯糊など工業用でん粉メーカーに転じ、高度成長期の頃から食品用でん粉へとシフト



2020年新入社員

しました。現在は天然のでん粉を原料にした食物繊維で、おなかの調子を整えたり食後の血糖値の上昇を穏やかにする難消化性デキストリンが多くの特保商品に採用されるなど、健康をキーワードに新たなでん粉利用価値を提案し、売り上げを増やしています。また、15年以上にわたり香川大学と共同で「希少糖」の研究開発を行い、国内外から注目されています。でん粉の価値創出に挑み続ける同社の原動力は「こんなことに挑戦してみたいというテーマがあればそれを否定することなく、尊重してやらせてみる風土」と人事部次長の寺園裕之さんは言います。

「従業員は家族」という言葉が浸透

「従業員は家族」という言葉が浸透しているのも同社ならではの。「働き方改革」という言葉が浸透するずっと前から定時退社が習慣化、有給休暇も当たり前のように取得しているとのこと。社内は野球、フットサルなどのサークルのほか、部署を超えて自主的にゴルフやテニスを楽しむ従業員が多く、そうした交流の中から何でも言いやすい風土が育ち、ひいては挑戦できる土壌が育まれているようです。



100周年記念旅行(2019年秋・北海道)

まねき食品(株)

姫路市北条953番地 ☎079-224-0255

1888年の創業以来播磨の地に根付き、弁当、仕出し、レストラン、カフェなど食に関わる事業を広げてきた。近年は県外、そして海外での展開も加速し、まねきブランドを広げている。

公式サイト



- 設立(創業)/1944年(創業1888年)
- 資本金/5,700万円
- 売上高/29億6,300万円(2019年8月期)
- 従業員数/390名
- 平均年齢/46.0歳

日本のお弁当文化をアジアに

2017年10月、台湾の台北駅構内に海外初となる駅弁の常設販売店をオープンしました。宅配でのニーズも増えており、順調な滑り出しを切っています。「お弁当はおすしなどと並ぶ日本が誇る食文化の一つ。手ごろでおいしさが詰まったお弁当文化をアジアで広げたい」と竹田典高社長。すでに台北市内中心部にうどん



まねき食品株式会社 本社

も提供する2号店をオープン。2018年11月はタイにも1号店を出店しました。JR姫路駅などのホームや構内で展開する「えきそば」で知られていますが、主力事業は創業以来駅構内などで展開してきた弁当・仕出し製造・販売事業です。10年前には大阪の百貨店に進出、近年は東京の駅弁イベントなどにも積極的に出店し、「まねき」ブランドの向上を狙っています。また、「えきそば」販売70年を記念して、JR姫路駅在来上り店をインスタ映えする店にリニューアルしました。

若手社員からの提案も積極的に採用

弁当などのメニューは若手社員のアイデアが積極的に取り入れられています。入社5年目で品質管理部に所属する岡田美咲さんは、5年前に姫路駅前の商業施設内にオープンした「ハイミーカフェ」のメニューとしてイチゴのあまおうを花束状にぎざぎざに重ねた「ブーケパフェ」を開発し、ヒット商品に育てました。「社内でもお弁当のアイデアコンテストが開かれるなど、誰でもチャレンジできる雰囲気があるのでやりがいを感じている」と話しています。



JR姫路駅在来上り店

めいしょうきこう

明昌機工(株)

丹波市氷上町沼148 ☎0795-82-7111

真空技術、機械制御技術などに強みを持ち、国や大学の研究機関が取り組む基礎研究、最先端の医療や企業の製品開発などにつながる実験や研究を下支えする最先端機器を製造している。

「ニホニウム」発見にも貢献

2016年11月、113番目の元素が日本人によって新たに発見され「ニホニウム」と名づけられました。この新元素の合成に成功した理化学研究所仁科加速器科学研究センターの加速器にも同社製の機器が使われています。ほかにも1km先の対象物に0.1mmの精度で放射光を導くための機器、物質を解析するために用いる中性子ビームの整形装置、またガン治療用の陽子・重粒子のビームライン等、様々な最先端の分野で日本の科学技術の発展に貢献しています。「オーダーメイドの最先端実験装置を作るため、高度な技術力が求められる」と幹部は語ります。

- 👑平成29年度 ひょうごオンリーワン企業
- 👑成長期待企業
- 👑令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

公式サイト



- 設立(創業) / 1952年
- 資本金 / 3,000万円
- 売上高 / 10億5,800万円(2020年3月期)
- 従業員数 / 52名
- 平均年齢 / 44.0歳



本社外観

やりたいことができる風土が根付く

現在は中性子・放射光・レーザー関連装置、超高真空装置、省力化を目的とした自動機、ナノインプリンターの4分野を手がけています。中でも自社開発製品の柱として育ったのがナノインプリンター。半導体などの表面にナノ単位で自在に凹凸をつけることのできる装置で、すでに100台以上出荷しました。



第一線でダイナミックに活躍している社員たち

製品は一品受注が多く、「相手のニーズをくみ取り、当社の技術でいかに形にできるか柔軟に発想できる人間を求めている。やりたいことがやれる風土があり、離職者はほとんどいない」ことも誇りです。「ナノインプリンターに代表される自社製品を今後さらに開発し、付加価値をより高めて社員に還元していきたい」と思いを語ります。

もりた

(株)モリタ

三田市テクノパーク1番地の5 ☎079-568-7800

シェア55%以上を誇る消防車両のトップメーカー。消火、救助の機能を持つ車両だけでなく消防隊員の安全管理システムなども加えた総合防災ソリューション企業として進化を続けている。

グループ総力で消防ソリューションを提案

1907年に創業し、日本で初めてガソリンエンジン付き消防ポンプを開発して以来、消防車のトップメーカーとして日本の消防技術発展に寄与してきました。近年は主力のはしご車に加え、boomを使った消防車もラインアップ。また、水に消火薬剤を加え発泡させることで少量の水で高い消火性能を発揮する消防ポンプ車や、空気中の窒素濃度を上げることで、一切水を使用せずに消火する消防車なども開発。IoTを活用した画像情報による消火活動のサポートシステムなどと組み合わせ、グループ全体で消防のソリューションを提案しています。

- 設立(創業) / 1907年
- 資本金 / 10億円
- 売上高 / 非公開
- 従業員数 / 378名
- 平均年齢 / 40.5歳



1台ごとに異なる仕様に応じて消防車が生産されている

2年ごとの全員研修で養われる同期の絆

2016年にはダイバーシティ推進室を設置し、新卒採用のうち40%を女性、10%を海外出身者にする目標を掲げ、イノベーションを生み出す基盤づくりを進めています。入社後は全体での研修、配属先での研修を終えた後に向こう3年間で自らが身に付けるべき職務能力の目標を決めます。3年後にどこまで達成できたかの振り返りを行い、グループ会社全役員の前で一人ひとりが成果を報告する機会を設けています。「各年次のグループ社員全員を集めた研修を頻繁に行っており、同期の絆が強いのが特長」と人財開発課課長の東尾薫さん。一体感を醸成する人財教育で新商品、新市場開発への挑戦を促しています。



新入社員フォローアップ研修

六甲山観光(株)

神戸市灘区六甲山町一ヶ谷1番32号 ☎078-894-2071

公式サイト



神戸を代表する観光地、六甲山で数多くの施設を展開する六甲山観光。今春には日本最大級のアスレチック施設も誕生し、六甲山のさらなるにぎわいづくりに向けた仕掛けを積極化している。

- 設立(創業)/1923年
- 資本金/8,097万円
- 売上高/24億600万円(2019年3月期)
- 従業員数/216名
- 平均年齢/39.3歳

日本最大級のアスレチック施設が誕生

「都心部から近い場所で豊かな自然、さまざまなレジャー、眺望を楽しむことができる稀有な観光地」と六甲山の魅力を語る宮西幸治社長。商業施設「六甲ガーデンテラス」、冬はスキー、夏はバーベキューが楽しめる「六甲山カンツリーハウス」のほか「六甲オルゴールミュージアム」「六甲高山植物園」「六甲ケーブル」などの運営を行っています。



六甲山からの眺望

今春には「六甲山カンツリーハウス」と「六甲山フィールド・アスレチック」とが一体化し、日本最大級のアスレチック施設として生まれ変わります。「こうした強力なコンテンツに加え、施設を周知するための情報発信に力を入れ、集客につなげていきたい」と力強く語ります。

外部にゆだねず企画、運営まで担う

六甲山の景観を生かした現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」



六甲ケーブル

は昨年で11回目を迎え、これまで六甲山に足を運ぶことのなかった若い女性などを呼び込んでいます。こうしたイベントやPRについても社員たちで企画、運営を担っている点も同社の特長です。恵まれた環境の中で音楽、植栽、アートなど自分の好きなことに関われることから新卒者の人気も高いとのこと。「六甲山を世界でも知られた観光地にすること」をミッションに「社員自身がワクワクしながら新しいことに挑戦してほしい」と宮西社長は若い社員の力に期待しています。